

大腸菌関連検査のご案内

検査項目のご紹介

◆ 生食用食肉（糞便系大腸菌群及びサルモネラ属菌）

項目コード：802200
納期：6～9日
必要検体量：200g以上
検査方法：衛乳第221号
セット内容：糞便系大腸菌群・サルモネラ属菌
検査料金：5,500円（税別）/1検体

- 生食用食肉等の安全性確保について 生衛発第一三五八号 により、生食用食肉の成分規格目標として設定された2項目のセットです。
- 生食用食肉の衛生基準（抜粋）
生食用食肉（牛又は馬の肝臓又は肉であって生食用食肉として販売するもの）は、糞便系大腸菌群（fecal coliforms）及びサルモネラ属菌が「陰性」でなければならない。

◆ 腸管出血性大腸菌（O111、O157、O26含む）

項目コード：828600
納期：4～8日
必要検体量：200g以上
検査方法：増菌培養法
検査料金：9,000円（税別）/1検体

- 腸管出血性大腸菌とは、ベロ毒素を産生し出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群（HUS）を起こす大腸菌です。（ベロ毒素を産生する大腸菌をご報告。）
- 腸管出血性大腸菌感染症患者から検出される血清型は、O157・O26・O111の3型で9割以上を占めていると言われています。

① 生食用（ユッケやレバ刺し等）として提供する食肉を検査したい。



・生食用食肉（糞便系大腸菌群及びサルモネラ属菌）
・腸管出血性大腸菌（O111、O157、O26含む）
・黄色ブドウ球菌
・カンピロバクター

② 焼いて食べる肉として提供する食肉を検査したい。



・腸管出血性大腸菌（O111、O157、O26含む）
・サルモネラ
・黄色ブドウ球菌
・カンピロバクター

③ 食材（生野菜、料理品など）で腸管出血性大腸菌の有無を検査したい。



・腸管出血性大腸菌（O111、O157、O26含む）

※生食用食肉等の安全性確保について（生衛1358号）や、食品・添加物の規格基準(告示)などを参考に推奨項目を設定しております。

保健所より検査実施の指示がある場合は、まず指定の検査項目があるかどうかをご確認頂き、指定がなければ上記に従って項目をご選択下さい。

（検査実施前には、実施予定項目で問題ないか保健所へ確認して下さい。）

検査内容や検査項目の選択でご不明な点はお気軽にご相談下さい。

株式会社ファルコライフサイエンス 食品衛生環境営業部
〒606-8393 京都市左京区東竹屋町通川端東入東竹屋町63番地2
TEL 075-771-9377 FAX 075-771-7477
e-mail : info@falco-life.co.jp URL : http://www.falco-life.co.jp/



20110623

大腸菌関連検査のご案内 補足事項

大腸菌のグループ分け

大腸菌群

大腸菌（糞便系大腸菌群）

食品衛生法に基づく食品等の規格基準の中で、食肉製品等の成分規格に使用されている「E.coli」と同じものを言う。

下痢原性大腸菌（病原大腸菌）

- ・腸管毒素原性大腸菌（ETEC）
- ・腸管病原性大腸菌（EPEC）
- ・腸管出血性大腸菌（EHEC）
- ・腸管侵入性大腸菌（EIEC）
- ・腸管集合性大腸菌（EAggEC）

◆血清型とは◆

大腸菌の表面にあるO抗原（細胞壁由来）とH抗原（べん毛由来）による分類であり、大腸菌は血清型によって細かく約180分類されています。例えば「O157」とはO抗原として157番目に発見された大腸菌を指します。

大腸菌を分類しているものであり、病原大腸菌として知られる血清型（O157など）が検出されても、ベロ毒素産生の確認検査が必要です。大腸菌O157でも、ベロ毒素非産生株は、腸管出血性大腸菌ではありません。ただし、病原性を示す大腸菌は特定の血清型が多いことから、血清型を調べることにより病原性を推定できます。

◆病原大腸菌とは◆

下痢、腹痛などといった胃腸炎を起こす大腸菌（下痢原性大腸菌とも呼ばれます）の事を指し、毒素の種類や発病の違いにより5つに分類されています。

弊社では「病原大腸菌（810800）」の検査もご用意しておりますが、この検査は該当する血清型の大腸菌をご報告し、ベロ毒素の有無は確認致しません。

従って、検出された菌が必ずしも病原性を示すわけではありません。

病原性を示す菌（ベロ毒素を産生する菌）が混入しているか確認したい場合は、「腸管出血性大腸菌（O111、O157、O26含む）」をご依頼下さい。

◆腸管出血性大腸菌とは◆

ベロ毒素を産生し、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群（HUS）を起こす大腸菌を指します。腸管出血性大腸菌感染症患者から検出される血清型は、O157・O26・O111の3型で9割以上を占めていると言われており、他にO121・O103・O91・145・O165なども3型に次いで検出されています。

株式会社ファルコライフサイエンス 食品衛生環境営業部
〒606-8393 京都市左京区東竹屋町通川端東入東竹屋町63番地2
TEL 075-771-9377 FAX 075-771-7477
e-mail : info@falco-life.co.jp URL : <http://www.falco-life.co.jp/>



20110623